

第30回ゴミパイプライン協議会

会議名	: ゴミパイプライン協議会
開催日時	: 2020年6月20日(土) 10:00~11:50
場所	: 芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	: 山口委員長, 友田副委員長(司会進行), 春木委員, 大永委員, 三浦委員, 大田委員
市より	: 森田部長, 藪田課長, 尾川係長, 林課員
傍聴者	: 2名

司会	<p>皆さん、おはようございます。第30回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思っております。</p> <p>本日の司会をやらせていただきます利用者の会の友田でございます。</p> <p>コロナがまだまだ先が見えない状況にはなっておりますので、この会議は芦屋市のマニュアルに沿ってマスクの着用、それから各自1メートルの距離を取る、それから換気を行う、会議時間は従来2時間でしたけれども1時間30分以内、それからマイクは使わないということで。それから皆さんは体温測定もしていただきましたので、ということ、それから今日、出席者の皆様にお名前を、万が一のときの場合にトレースできるようにお名前もいただきました。以上、そういうことをちゃんと行いまして本日の会議を開催させていただきたいと思っております。</p> <p>本日の議題は1から8番までございますので、よろしくお願ひします。それと資料のほうは1から6番までございますので御確認ください。</p> <p>それでは、早速、議題1、パイプライン運転報告について、資料1に関しまして、林さんのほうからご説明をお願いいたします。</p>
市	<p>おはようございます。芦屋市の林です。資料は事前に配っていましたが、申し訳ないですが、何点か修正がございましたので、先にそちらのほうを御報告させていただきます。机の上にお配りしています資料が最新のものになります。</p> <p>修正は、1枚目のナンバー6ですけれども、3月25日水曜日5時59分、高浜町、5069、スクリュウの異常停止ですけれども、こちら住民起因というところに印が抜けておりましたので、修正させていただきました。</p> <p>3ページ目、今回、停止に関わったところが抜けておまして、ナンバー36がメールでお配りした資料に抜けておりました。申し訳ございません。これも本日配布した資料に追記させていただきます。</p> <p>つぎに、システム異常発報の3ページ目の発生件数のところですが、昨年66件と書いていますが、申し訳ございません、これは40件の間違いです。申し訳ございません。この3点、事前に配布した資料を修正しています。申し訳ございません。</p> <p>それでは、資料1、パイプライン運転報告について説明させていただきます。</p> <p>期間といたしましては3月19日から6月2日までの記録になっております。件数としては全</p>

	<p>体で36件ございました。</p> <p>今回、多かったところに関しましては、ナンバーで言いますと、19番、22番、29番、35番の潮見町の12031ですけれども、排出弁の閉異常が10日置きぐらいに出ていたのですけれども、短期間ではなく長期間的に出ていて、様子を見ようという状況でした。現在は収まって通常に戻っております。</p> <p>あと、先ほど修正した部分ですけれども、ナンバー6の3月25日、高浜町の5069、スクリュウの停止異常の件ですけど、これは3月とか引越しの時期とかに多いのですけれども、これは事前に利用者の会の方にはメール等で送らせていただいている写真になります。教科書ですね、大量の教科書があって、スクリュウの停止異常、2日連続で起きて、これに関しましては高浜町の4号棟か2号棟だったと思うのですけれども、管轄ではURさんのところでした。URさんのところに直接行きまして説明し、その後、ご本人の方にこういったことがあったという旨を伝えたという連絡をこちらにいただいております。今後はこういうことがないようということはお伝えをいたしました。</p>
利用者の会	これはあれですか、親が捨てているのか、子供が捨てたのか。
市	そこまではちょっと分からなかったですね。名前には子供さんのお名前が書いていたのですけれども、住所までは教科書に書いていませんでしたので、我々のほうでは家の特定まではできなかった。
市	URはもちろどこに誰が住んでいるか分かっているので、URから啓発する形になりました。
市	<p>個人情報までは教えていただくことはできませんでしたので、UR経由で啓発という形を取らせていただきました。</p> <p>続きまして、利用者からの連絡対応につきまして、今回の期間に関しましては22件ございました。多かったのが、現場対応でバケツ下のごみあり、除去後復旧というのが、22件中8件ございました。</p> <p>また、毎回の報告であるとおり、開で放置、鍵を戻さずにそのまま帰ってしまったというのが3件ございました。浜風町、新浜町でございました。</p> <p>また、最後のページになりますが、巡回点検でも同様に鍵の開で放置、合い鍵で復旧が2件、新浜町、潮見町でそれぞれございました。おおむね今回の報告では、こういった開放置が多かったなという印象があります。</p> <p>また、一番下の設備トラブルの対応中という件ですけれども、前回も高浜町のスクリュウの件、ご報告させていただいたのですけれども、あれ以降も業者のほうに現状調査等をしており、いろいろヒアリング等はしております。また、次回のワーキンググループで今の状況等を報告し、どう対応するか話し合っ対応したいなと思っております。</p> <p>議題1のパイプライン運転報告については以上になります。</p>
司会	ありがとうございました。ただいまの林さんの御説明に関してご質問のある方は。はい、山口さん、どうぞ。
利用者の会	おはようございます。山口です。説明をお願いしたいのですけど、パイプライン運転、システ

	ム異常の2番、若葉町のキュービクル、これ、どういう話なのですか。
市	この若葉町と高浜町に関しましては、キュービクルという受電設備をそれぞれ持っておりまして、そこから各マンションに電気を送っている形になります。今回、このキュービクルというのは、若葉町にあるキュービクル、受電のブレーカが落ちておりまして、そのときの運転が止まったという状況になるのですけれども、たまにあるのですが、スクリーとかがかみ込んで過負荷がやったときに落ちてしまって、それに時間がかかったというのは、現場と運転を見ながら作業しておりまして、スクリーが動いているのを見て、何が絡んでいるかというのを見ていたのですけれども、結局何か分からなかったので原因は不明という形にさせていただいております。
利用者の会	具体的に何をされたのですか。
市	ブレーカを開いて運転ですね、試運転をして。
利用者の会	電気を多くしたとか、そんな。
市	ブレーカが過電流という形で落ちる。スクリーで何か詰まったりすると、スクリーがもっと動こうとして過電流が。
利用者の会	止まりますよね。
市	電流がガッと大きくなって、そのとき過電流が流れるとブレーカが落ちるように。
利用者の会	落ちますよね。
市	ご家庭のブレーカと一緒になんですけど、一旦止まると、今度は過負荷がかかってないので、ブレーカを復帰できるのです。そういう形で、結局はブレーカの復帰だけですけれども、実際その現場で中身を見ながら運転してという形です。
利用者の会	ほかでも同じようなこと、たしかね、前も同じところで起きたような気がするのですが、何年か前に。
市	そうですね。たまにこういったことが起きます。
利用者の会	手順は、同じ手順でやる。
市	そうですね。そのとき何か異物が見つかったら、そのときは取り出すという形になります。
傍聴者	そやけど、ブレーカ自体がね、30年間交換してなかったら、ブレーカ自体の反応が早くなったり遅くなったり、ブレーカの交換というのは定期的にやっておられる、やってないでしょう、恐らく。
市	交換。キュービクルは。
傍聴者	キュービクルはやっているかもしれないがブレーカはやっているかどうか分かん。
市	もともと高圧設備でしたので、それを低圧設備にしていますので、そのときに多分交換はしていると思います。反応速度に関しましては一応設定があります。
傍聴者	ただ、あれ反応と言うたらね、ちょっと言えないのがあるし、それからこのモーター側は何も交換されてないから、30年、40年使っていたら、やっぱりモーター側の性能が落ちているから、負荷がかかったらよけいに電流が流れてしまうとかね、そういうこともあるやろうから、こ

	れ、たまに起きるのは、非常に分かりにくい。
市	そうですね。
傍聴者	本当はもう交換しないといかんけど、交換したらお金との絡みあるから、何とかだましまし使うしかないでしょう。
市	そうですね。こういったのは記録として残していつて。
傍聴者	あと、スクリー側の給油とかね、そういう問題がちゃんとされているのか、メンテナンスの問題ね。
市	そうですね。定期点検で年1回、給油等しております。
利用者の会	<p>どうもご苦労さんです。春木です。</p> <p>今も出ていましたけど、40年ね、経過して、だましまし使っていくしかない。設備についてよく原因を調査せないかんというのも1つあるけど、一方では、例えばスクリーに関しては、これ7件ね、弁関係では22件発生しているのですね。中にはやっぱり詰まっていたというのが出ていますし、スクリーにしても、弁にしても。やっぱりだましまし使わないかんし、やっぱりそういう老朽化している設備を住民がルールをちゃんと守って、やっぱりできる限り延命化を図って、条例に出ていました、あの費用に収まるようにするのも非常に大きな課題やと思うのです。</p> <p>だから、これでごみをたまたま見つけたという場合には、やっぱりそういうこともアピールすべきやと思うのですよ、後から出てくると思うのやけど。その辺の、大量の書籍はこうやってアピールしてもらったけどね。こういうことをやっぱり利用者の会なりね、住民の皆さんに、こういうことがあったからちゃんと守らんと、もう潰れて即駄目になるよとかね、厳しくアピールしてほしいなという気がしています。</p> <p>だから、その辺をちょっとね、やっぱり原因をちゃんと出そうという。いっぱい原因ある、設備的な劣化とかね、いろいろあるけど、住民サイドとして、これだけはちゃんとしてくださいよというところを出してほしいと思う。でないと、延命化ということができていないという気がしています。それ、よろしく願いたい。</p> <p>あと、利用者からの連絡対応やけど、例えば2番については、2番とか3番、特に3番やね、これ現場行ってやったということやけど、作業時間15分というのが非常にちょっと疑問なんやわ。作業時間15分のうち往復時間いうたらそのうちの半分あると思うのよね。その往復時間超えて作業時間は、中にあるごみ取り出すという、ほんまに15分かな。</p>
市	利用者からの連絡対応は、彼らもずっとセンターにいて連絡をもらってからスタートというわけではないのです。ほかの現場を回っている最中にセンターから連絡が入ってその現場に向かいます。基本的にはバケット下なので、投入口の横の扉を開けて。
利用者の会	扉を開けてね、中に。
市	ちょっと手を突っ込んで、ごみを取り出して落とすような形にはなると思います。
利用者の会	理解しました。それと、話しあったように、バケット下のごみ詰まりね、これ22件中8件、鍵も8件、なおかつ点検で発見したのが2件ありますね。これはもう従来からずっと続いているし

	<p>ね、ちょっと非常に多いような気がするのやね、バケツ下のごみ詰まり。従来からずっとですわ。特に今回多い。ということは、対策やというてやっているのが十分機能してないと違うかと思うのでね。これ、また、今後どういうふうに住民の皆さんにアピールするかいのをね。</p> <p>例えば詰まっているとこやったら即投入ボックスに、こういうことあって詰まっていますよとか、こうしてくださいよとやるとか、やっぱり、これ、何らか具体的な、もうちょっと、これまでやってきたけど、さらなる対応が必要や思います。</p>
市	それぞれ鍵の開の放置とバケツ下は毎回報告で多い部分もあると思います。鍵の異常、今回、結構8か所で全部違う投入口なので、皆さんばらばらの方が多分やられていると思います。
利用者の会	みんな違うとこじゃなしに、若葉町が、同じところで2回起こつとる。
市	鍵の件ですか。
利用者の会	バケツ下。
市	バケツ下はそうです。
利用者の会	ああ、鍵か。
市	鍵です。
利用者の会	ああ、鍵。
市	鍵は全て違うとこで。以前から赤シールで対応しているのですけれども、ちょっとまた、次、第2弾を考えて、なかなか。
利用者の会	ともかく何度も何度も、もうしつこいぐらい言わんと駄目やと思うねん。だから、その辺お願いしたいわ。そやから、このスクリューね、今、異音して、そのままになっていますね。そやから、この問題もね、やっぱり住民側としては大事にスクリューを使いなさいよと、そやないと場合によつたら、あそこに潜り込んで、スクリューかみ込んで、場合によつたら羽根が傷んでしまうかも分からんしね。
市	そうですね。
利用者の会	そやから、ともかく大事に使って、この条例で決めたスクリューにしたって、あれ何ぼやったかな、1億4,800万、33基でね。今回、1基替えたら大部分取られるわね、何千万か。そやから、ぜひ、できる限り住民サイドのそういった考えられる要因についてもやっぱりしつこくアピールするように、今後のことになると思うけど、よろしくお願ひしたい。以上です。
市	そうですね。協力していただけたところはお願いしたいと思っております。
利用者の会	ねえ。そやないと減らない。
司会	はい、大田さん、どうぞ。
利用者の会	この表のつくり方の問題なのですけどね、以前、山口さんのほうから、エクセルで表作成していたら、町名とか投入口の箇所番号、これをある程度集約した形ですれば、どこが、何番の投入口に集中的に問題が起こっているかということがすぐ分かりやすいと思うのですけれども。今、月別に、月順にずっとやっているけれども、町名順にやったほうがいいのじゃな

	いかな。
市	そうですね。議題に載っていたTO DO リストでそういった御指摘があったのでつくっております。まだ試作ですけども、昨年度1年間をまとめました。こういった形で、これ1年間です。1年間のやつ全て載せています。このタブでそれぞれ町別とか投入口別を出しております。例えばこの投入口やったら2件ありましたとか、先ほど大田さん言われたとおり、それぞれリストにしております。こういった形を今ちょっと案として作成しておりますので、ちょっと今まだ精査しているところなので。
利用者の会	最初、林さんのほうから潮見の12031、こういう形で周知しているよというような指摘あったのですね。私なんか見たらずっと順番に。
市	そうですね。
利用者の会	12031やったら12031で周知。
市	これで見ることができます。
利用者の会	そういう形で、提案ですけどね、最初からそういう形で配布してもらったほうがいいのと違うかなと思うのやけども。ほかの人の意見はどうか分かりません。
市	そうですね。でも、出し方もまた1年間の計で出すのか、今やったら前回報告分から今回報告分の2か月、3か月程度の分を単発、単発で出しているような状態になりますので、どこかでまとめて出すという機会を設けて、皆さんで精査するのですかね、どうだった、こうだったという話し合いができればいいなと思っています。
司会	いいですか。山口さん、どうぞ。
利用者の会	今おっしゃったところは大切なお話なので、ワーキンググループでどうするか詰めたと思います。 ちよっとまだ、すみません、先の話ですけど、何で幹線ブレーカ、主幹ブレーカの話をしたかという、実は芦屋市が去年12月に高潮マップというのを出しまして、それで私たちもいろんな対策を考えて一応たたき台はつくったのですけれども、主幹ブレーカが4か所、私たちのマンションにはあるのですよ。先日全部中開けてチェックして、何がどうなるかチェックしたら、1メートルの水が来たときこの主幹ブレーカが半分水につかるというのが分かったのです。 業者を呼んで、水つかったらどうなるのと聞いたら、それは駄目になりますということで、その周りに壁をつくる。これ、LIXILに頼んだら1,200万と言われたのですよ。関電の小会社に見積り取って、水につかる部分だけ上にブレーカを上げるという見積りを取ったのです。4か所あるのですけど、それを860万と言われたのです。 ちよっと先の話ですけども、そういうことが来た場合に、やはりパイプラインもすごく影響を受けると私は考え、私たちのマンション2つだけで、もうはっきり言って全体で二千何百万のお金がかかるのですよ、その電気系統を浸水から全部ブロックするのに。 ですから、将来の話としても、芦屋市の環境処理センターとして、高潮が来た場合どうするかということはある程度考える。私たちは3年計画で全部やろうとしているのです。ですから、すぐにはできませんけど、そういうふうな予算取りですね。私たちは新しく項目をつくって、

	<p>自然災害費用というのをつくったのですよ。それで、毎年対策を取る。もちろん今回の感染の問題もあって、消毒をどこがするかとか、いろんな話があったんですけど。そういうことで、やはり自然対策で、今までは地震と津波を考えればよかったですけど、いろんな状況が今変わってきていますので、その辺も含めて、細かいことですが、少し方向性とか、どう考えるかとか、その辺を少しずつやっていったらどうかという提案です。</p>
司会	はい、野村さん。
傍聴者	<p>今と私全く違う意見ですけど、高潮やら津波が来たらパイプラインは全くだうしようもない。もう設備なんて浸かるわけやから、それを今さら1メートル上げる、2メートルというのは、高潮来るのやったら5メートルでも10メートル上げんとあかんでしょう。上げて30メートルの津波来たら一緒ですし。だから、その自然災害のことを考えたときのリスク、それはもう今の潮位と一緒にやから、しょうがない。</p> <p>ここのごみの設備も、ここにわざわざ専門の方がいるので、これも高潮かぶったらどうしようもないです。それ嫌やったら、山の上に焼却場を持って行ってつくりゃあ安全やけど、こんな浜につくった、そんなもん10メートル上げて、そこにピットつくるとしたら地上ピットになりますから、今、地下ピットやから、それを地上ピットにするというたら、そんなもん設計上考えたときはそれは非常に難しいことやから、今後、設備を新規にやるとき、根本的にそれを考えるのやったら、それは特記したらいい。今の段階はもうしょうがないとしか言いようがないのじゃないですか。浅田さん、どうです。その辺は。</p>
傍聴者	<p>私の家は2年前に台風で床下浸水、48時間停電しました。全部水洗いして、で、復旧してくれたのですよね。ですから、キュービクルはそれしか仕方ないかなというのと、どうしようもないのが地下に埋まっているモーターですね。これ、どうしようもないのですよね。ですから、結局、そのときはパッカー車による、臨時のところに置いて集めるしかないからというのがありまして、そういう高潮かぶったときは仕方ないかなと。</p> <p>ただ、通常、使用時において問題があるとき、そういうものについては点検とか、絶縁もきちんと毎年測っていると思いますけどね、そういった意味では必要かと思うので。これは起こったときに考えるしかないのかなと、残念ながら。パイプラインについてはそう思います。</p>
司会	はい、山口さん、どうぞ。
利用者の会	<p>そういうのを議論しましょうよ、ここで結論出ないで。起こったときにわあわあ言うよりは、事前にきちっと話して、もう事前に、これはしやあないなということとか手が打てるもの、いろいろあると思いますよね。</p>
傍聴者	<p>だから、例えばね、点検する方に、つかったときには水をまず抜いて、ここだけはきっちり水洗いしろとかね、そういったマニュアルをつくるのが必要だと思いますよ、それは。</p>
司会	ありがとうございました。
利用者の会	<p>停電もね、あのときもそうやったと思うのやけど、関電のほうは、南芦屋浜は地中、地中ですね、そやけど地上に。</p>
市	ありますね。

利用者の会	出ているのよ。それずっとあちこちにね。そこに、地面から10センチぐらいのところから換気の穴がずっと開いている。ほんなら、ここから水がみんな入るわね。それは関電に聞いたら、いや、高潮であれつかった可能性もあるから、やっぱり開けて調べないかん言うてね、全部調べているのや。それすごく時間かかったからね。
傍聴者	過去にね、私、行っているところでは、過去に洪水でここまで水が来ましたと道路脇に書いているところありますよ。そのところはかさ上げして、上に。
利用者の会	ああ、上にこう、地上のあれをね。
傍聴者	ですから、私も今、防潮堤つくってもらっていますけど、あの交渉の中で、キュービクルもかさ上げしてほしいという要望を言おうとしたのですが、そこまでは関電には言えないので、まずは来ないようにというので今止まっていますけど。本当はリスク考えると、生活に即困るところはやるべきだと思うのですが、パイプラインは要するにそれ以外の。
利用者の会	以外、以外。そやから、芦屋市も電線の地中化というけど、その辺を検討してもらって。
司会	はい、ありがとうございました。 続きまして、本日議題の2番ですね、利用者起因によるパイプラインの閉管について、資料2に関しまして、林さんのほうからご説明をお願いいたします。
市	芦屋市の林です。2番、パイプラインの閉塞について報告させていただきます。 今現在、5月の末から現在に至るまで、新浜町の一部パイプラインが停止しております。場所に関しましては、資料2ページ目になりまして、青い部分が今の停止地域になります。復旧作業中分かったことで、ちょうど浜風小学校の北側の緑道を通る、この赤い部分の輸送管内で閉塞がありました。 次のページを御覧ください。具体的な閉塞箇所、また穴あき箇所のほうを図で示しております。ごみの流れはこの画面の上から下に流れていっているような状況です。小学校のほうにもこちらのほうから合流して、それで浜風小学校、こちらのほうから合流して、センターへ運ばれます。 それで、閉塞箇所、大きい閉塞箇所が3か所ございました。①、②、③とつけさせてもらっているのですが、それぞれ下流のほうから大体輸送管4分の1の閉塞で、その上が大体2分の1の閉塞で、ここが完全閉塞しておりました。そのちょっと下流側にそれぞれ穴あき、亀裂がございました。それぞれの写真は次のページになります。 閉塞箇所の4分の1というのが、パイプラインの中にカメラを入れまして、そのときの静止画像になります。このように輸送管の下4分の1ぐらいが丘のごみがたまっている状態になっています。右手のほうがこちら輸送管の半分、大体2分の1が閉塞しておりました。左下が③番の閉塞箇所、完全閉塞しておりました。こういった閉塞箇所の解除を行いまして、今現在に関しましては空気の通りは可能やと思うのですが、 続いて、先ほど自動ドアの前に置いてありました、ごみですね。今回、復旧作業中に様々なごみが出てきました。全体図は左上の写真になりまして、それぞれ折り畳みの傘、丸

太、スプレー缶、ヘアアイロン、レンガ・陶器、また包丁やナイフなどが出てきました。丸太に関してはどれだけの量が入っていたか分かりませんが、取り出せる分は取り出しております。現在、自動ドアの前に現物を置いております。

続きまして、輸送管の亀裂に関しまして。ちょうど図面の亀裂があったという場所で、大体2メートル程度の亀裂がありました。ここに土が見えていて浮き上がっている状態になります。拡大すると、このような形で土が見えているところ、これが母体というか、もともとの管の状態です。

次の分が穴あきです。穴あきで、赤い箇所2か所ですけども、それぞれに横目で、赤いこちら辺が外側のライニングの場所になります。皮1枚で残っている形になります。

赤い丸のところ、これが信号線、電線管の部分になります。この状態で運転すると、ごみで電線管を傷つけてしまって、信号が通らなくなって費用がかかってしまう可能性もございます。

また、ちっちゃい粒々の染みが見えるのですが、これはピンホールです。小さいピンホールが多数、輸送管の下部にできております。こういった状況なので、この状態で運転するのは大変危険というか、すぐにまた停止する可能性もございますので、今ちょっと止めているような状態になります。

停止内容につきまして報告をさせていただきます。

今回の停止の投入口に関しましては10か所で、停止の経緯といたしましては、5月29日にいろいろ作業しまして、閉塞箇所の確認を行いまして、利用者の会の方にも連絡はさせていただきます。

翌日、土曜日の5月30日から停止地域に関しましては臨時の車収集を行っております。これに関しては現在も継続して行っております。翌週の月、水、金に復旧作業を行いました。この3日間の作業におきまして、先ほどの閉塞箇所3か所は解消しております。それ以降に関しましては、今回、穴あき等が見つかりましたので、補修方法の検討を維持管理業者と行っております。

作業内容としましては、高圧洗浄での閉塞及び堆積ごみの除去作業。人力での閉塞及び堆積除去作業を行っております。

発生費用に関しましては、まだ算出中ですので、今は出ておりません。

停止内容につきまして、今回、停止の原因と推測されるのが、先ほどの穴あきと、今回出てきた丸太等の投入不可のごみ、この2点が推測される原因となっております。

現在、輸送管、今の状態で何故運転を行わないのかといいますと、この3点、電線管が露出している状態ですので、運転をして電線管を損傷させる可能性がある。また、ピンホールが出てきているので、この梅雨の時期ですので、雨が降る時期に運転すると、輸送管内が負圧になるので、水を吸引しやすくなってしまいます。また、輸送管の亀裂が発生しているので、ごみが引っかかったり、余計、亀裂が広がる可能性がある。こういった理由で運転を

	<p>行わずに補修を行ってからと考えております。</p> <p>今後の対応といたしましては、亀裂及び穴あき部分に関しましては、近接部の掘削を行いまして内部からの補修を予定しております。実際、カメラの映像しか私たちは見ておりませんので、直接管中の状況を見まして、予定では内貼りの補修を行う予定をしているのですけれども、無理であれば水中ボンドを周りに貼るとか、そういったので応急的な対応を行おうとしております。</p> <p>また、議題の4番になるのですけれども、今回の停止箇所に関しましては、本年度の工事予定箇所になっております。なので、本復旧というか、仮でも工事までもたせられないかという方法を検討している状況になります。2番の議題については以上になります。</p>
司会	ありがとうございました。今のご説明に関しまして質問。はい、大田さん、どうぞ。
利用者の会	閉塞箇所①、②、③もそうですけど、これぐらいになるまで発見できなかったかどうか、ちょっと。
市	そうですね、常に見えるところではないので、前回ここにカメラを入れたのが約1年前なので、具体的にいつからこういった状況が出てきたのか分からない状態になります。運転に関しましては、やはり二百何時間ずっと運転はできていた状態になります。
利用者の会	数字的、センター側の動力というのかな、数字的には表示出きるものなの。
市	圧力的にはいつもどおりかな。急に来たという。
利用者の会	出ない。ちょっとここまでひどい状態になるまで発見できなかったというのは、ちょっと何か、ほかの箇所でもね、多々こういうことが起こっているのと違うのかなということをちょっと危惧するのやけどね。
市	閉塞というのは、吸引するほうでの圧力の異常で初めて閉塞があるん違うかという形になりますので。圧力がまだ出ている間、例えば隙間があってごみが飛んでいる間というのはなかなか気づかない。
利用者の会	完全閉塞とか1/2の閉塞しとったとしてもなかなか。
市	そうですね。空気さえ通る道があれば圧力というのはある程度出ますので。やっぱり圧力が異常になって初めて何かがあるのと違うかという形になる。もちろんカメラ調査もしますので、それで発見ということもありますけれども、発見のきっかけというのはやっぱり圧力異常。
利用者の会	これ、ごみの種類見てみたら本当に包丁からナイフ、レンガ、とんでもないなというようなふう に思っ取るのですけどね。これは、このルートの的には、3071というところが原因しているのか、まだつながっているところが原因というのはある程度分かるのですか。
市	ここから上流側の投入口としか分からないですね。今回、停止の投入口が、そこを通る投入口なのです。
利用者の会	ある程度、幹線的なところがあるわけ。
市	準幹線ぐらいですね。
利用者の会	準幹線ぐらい。

市	準幹線ぐらい。
利用者の会	もう、これに関しては、投入口等に何らかの市としての貼り紙等はされているのですか。
市	今回に関してはまだしておりません。
利用者の会	えっ。
市	まだしておりません。
利用者の会	してない。
市	はい。
利用者の会	これ、どこの箇所か分からなかったら、もう利用者の会として全会員の自治会ないし管理組合に、こういうことがあったよということを知らせるしかない。
市	そうですね。
司会	はい、春木さん、どうぞ
利用者の会	途中で申し訳ない。この穴あき発見いうたら、これは従来からも発見していて、今年予算に入れている言うて、今年項目入れてる言うてたよね。これナンバー、どこやった、議題のところで今年度の輸送管の修理、これに入れていたということ。
市	そこは全体的に悪かったんで、昨年度はそこに内貼りをしているのですけれども、そこら辺も替えたい、ルート替えをしたいと。
利用者の会	昨年やったか、ラ・ヴェールのほう、こっちのこのラインいうかな、枝番でずっと出る、ラ・ヴェールのほうでなんか詰まって、それ掃除するのに、掃除ができんからと言って、ちょっと切ったところあったよね。
利用者の会	道路掘削して。
市	ああ、そうですね。それを今回掘削。
利用者の会	ほんで、そのときに見つけたん。
市	そのときはまた別の穴を見つけて内貼りはしたのですけれども、また新しい穴ができていたということ。
利用者の会	大分、これから言うと上流側や。
市	そうです、もうちょっと。
利用者の会	上流側、上流側。
市	穴あきのちょっと上ぐらい。
利用者の会	上流側ね。そのときに。
市	近いところがどんどん弱くなって穴が開いているような状態。
利用者の会	何かメールで見たら、もう既に今年度やる予定のとこやったというふうなことを聞いていたからね。それやったらそのときに発見したんかなと思って。
市	そのときはできていなかった。

利用者の会	発見していなかった。
市	去年はまだ穴ではなかった。
利用者の会	ほんなら、そのときの状況というのは、写真持つとるんやね。
市	去年の。
利用者の会	それと比べたら、今見たら、さらに広がっていた。
○市	こんな亀裂はなかったの。
利用者の会	ということ。
市	はい。
利用者の会	<p>その辺の状況ね、それから進んだということやね。いや、これで思っているのはね、ここに推測される運転停止原因、①輸送管の老朽化(穴あきなど)によるものと書いてあるのだけど、これ40年以上使っとして、なおかつ流体、何を送っているのからしたら、ある程度これまでの状況から見たら、傷んできているなということをみんな思っていると思うのやわ。やっぱりね、さっきから言っているけど、大事なことは、例えばそういうふうな設備をいかに長く大事に使うかというのがやっぱり、それを予防保全としてね、非常に大事なことやと思う。</p> <p>そんな中で、レンガとか、あんな非常に重たいものを放り込んでいたら、当然、流速の差というのはすごく大きいわね。石ころなんかやったらなかなか進まないし、片やビニールとかあんなのやったら、さぁと行きよるわね。先に石ころ入ってごろごろいうとつたら後からさぁと速いのがこう来て、そのうちだんだん引っかかって、わぁと大きくなるわ。そういうふうなものが。あるいは、レンガとか、陶器、なおかつ包丁、ナイフいうてね。この包丁、ナイフなんかいうたらね、それはもう災害が起こるよ、出すときに、可能性としてね。これは工場なんかやったら「何してんねん」ということやから。「災害したらどないすんねん。」包丁、ナイフ、折り畳み傘、なおかつスプレー缶やと。「これ何やねん」ということなんよ。</p> <p>ほんなら、こういうやつが今回の推定される原因の1つなんよ。違うとは誰も言えんと思う。詰まった原因がこれやないて誰も言えんと思う。そうすると、これが詰まった原因やということを確認にここに書くべきやと思うねん。大量の投入禁止ごみが輸送管内に堆積したことでどうのこうの、どうのこうのいうてね、それも原因として考えられるのよ。レンガなんかが老朽化した輸送管の中をごろごろ行ったら、余計、腐食しとるとこ、「うわあ」というて傷めて、またその内部に水染みたりする。そこからがたがたなるし。こういうふうなこと厳しくやってほしいと思うよ、私としたら。</p> <p>やっぱり利用者の会にでもね、これをちゃんと守ってくれやとかね、できる限りお願いをしますわとかね。ほんで起こったときには、即そういう対応をね、まだ十分最終までいってなかったにしても、やっぱりこういうことが、これが出ましたので、あそこの詰まるとる下流側のところを、投入口のところへ、今回はこんなんが発見されましたと即言うてね。こういうこと、ずっとこれ続いている、何したってなくならんし。だから何度も何度もその時々ね、やっぱり厳しく言わんと、なくならないと思うのやね。芦屋浜にしても今後まださらに、今年2年目かな。</p>

市	14年。
利用者の会	そやから、もうあと14年か。
市	早くて14年。
利用者の会	14年から19年やろ。
市	はい、そうです。
利用者の会	<p>それぐらいの予定やんか。それまでにどんどん悪くなってしまうよ。こんなん輸送管だけやなしに、スクリュウの貯留を排出するときにしたって、あんなのを放り込まれたらどないなるか。弁にしたってそやんか。ほんなら、表にバーンとぶつかったら、ペラなんかひん曲がってまうよな。だから、そういうことをやっぱり設備を大事に使ってくださいよ。そやないと十四、五年、14年、19年か、もちませんよということなんよ。</p> <p>なおかつ、あそこで85億やった？ 条例のときに決めて、パイプラインがそのうち何ぼやったか、五十何億やったか忘れたけど。あのときに立てた計画、あれもどんどん先行ってしまったら、それこそやないけど、多分。そやから、その時々、予防保全の一環として大事に、ためんように、できるだけじわあっと進むように使ってくださいねということ、分別を徹底して。それをね、やっぱりよろしくお願ひしたいと思います。私ら、これ見たら、もういらいらするけど。スプレー缶も入れとるし。</p>
司会	はい、野村さん、どうぞ。
傍聴者	今の話の続きなのですけどね、これ、このもの自体をね、やっぱり閉塞の起きた手前のところ、上流側に全部写真をべたっと貼ってですな。
利用者の会	そう、貼るべきや。
傍聴者	こんなんという、これ入れたらえらいことなる、そやからもう使えんようになったのやでと。あんな、この入れた人が責任やでというのを明確にしてね、言うべきや。
利用者の会	そう。言うべきや。
傍聴者	今後ね、これを捨てた人のほうの、さっきも言っていたのですが、これ見たらね、めちゃくちゃ悪意があるわけじゃなくて、これぐらいやったらええやろうと思って、木もこれきっちり切つとるわけです。長い枝を切って、わざわざ入れているわけですね。だからナイフや包丁も、これもこのぐらいやったら放る、ええやんという感じ。レンガなんかもこれもっと大きかったのが流れてるうちにこんな格好になったんやと思いますけれども。それはね、今後、利用者のほうに、やっぱり、「ほなこれどうすんねん」と言われたら、いや、ちゃんとごみのセンターで引き取るから、ここ持ってきてくださいと。持ってきていただいたら、うちは無料で引き取りますよと。皆さん持ってきてくださいというのを。これ包丁も別に持っていても、木も。レンガ以外は全部引き取ってもらえるわけです。だから、それをもっとね、これ利用者の会で徹底してね、ここへごみは全部持って行って、あそこに捨てるのと違って、入らんものは全部ここへ持ってきてもらうたら引き取りますよというのをもっと徹底すべきやないかなと思うのですけどね。だから、ある程度持ってきはと思うのですよ。
利用者の会	燃えないごみの日、燃えるごみの日って、あれ決まるとるよね、みんな各家庭に。包丁、ナ

	<p>イフやったら燃えないごみの日に、包丁、ナイフいう中身が分かるようにして出すというあれになっどる。そういうことを徹底してくれということよ。</p>
司会	<p>はい、山口さん、どうぞ。</p>
利用者の会	<p>231日間、利用者の原因で閉管しなかったのですね。私も毎日更新してますので、はらはらどきどきしながら、もうそろそろかなと思って今回発生があったのですけども。</p> <p>今、何をしていたかという、まず利用者全員に十何枚のパンフレットつくって配布した。発生したところは、その地域だけ全戸にチラシを市のほうからつくっていただいて、各住戸に今回は3か所配りました。何とか収まるかなと思ったら、やはり今回のことが収まらない。</p> <p>何で収まらないのかってずっと今考えているのですけど、システム思考というのがあり、考え方として、最終的にはごみに対するその人の価値観。さっき野村さんちょっとおっしゃったのですけれども、考え方、そこを変えないと、何ぼ私たちが知らないだろうということ知識を一生懸命詰め込んで変わらんから、やはりごみに対する、パイプラインの使い方に関する価値観みたいなことから突っ込んでいかないといかんかなという最終期に今来てるのですけれども。ちょっとその辺を利用者の会としても対策を考えながら今年やっていこう。単にチラシを配った啓蒙だけでは駄目だなという気は今してます。</p> <p>ですから、ごみに対する考え方、パイプラインをあと15年、20年もたせるためには、どんな価値観を持たなきゃいけないのか、そこからちょっとまた再スタートしたいなと今考えております。</p>
利用者の会	<p>その関係もあって、やっぱりそういう価値観をね、みんなに分かってもらうというのは非常に大事な、山口さん、大事なことなので。だからこそ、やっぱり起こったときには、詰まってる、その対象、少なくとも対象の地域の住民にはね、即、こんなもん入ってましたよ。だから今回詰まった原因の、大きな要因の1つですよということをね、その時々にも何度もやっぱり言わんと、なかなか価値観とか、そういうのは直らんという部分もやっぱりありますね。</p> <p>工場なんかやったら、こんな包丁、これが出てきた途端にヒヤリ・ハット、けがをせんかったとしても、今年度の方針決まっていますからね、ヒヤリ・ハットの報告書出して、こんなんが見つかって、こんなんがありました。だから対策はどうしますということで「ばあっ」と回すわけです、即。</p> <p>そやから、やっぱりそういうことも非常に大事なことやと。時間を超えて、昔こんなんあったんやなぐらいの。起こったときに、ダメージを受けとる間にこんなのやいうてね、知らしめるとい、大きな、大事なことやと。</p>
司会	<p>はい、ありがとうございました。三浦さん、どうぞ。</p>
利用者の会	<p>今回やっぱりね、またラ・ヴェールの近くというふうな話で、このメールが最初に送られたときに、これ金曜日やったかね、止まったの、たしかそうやった。私も夕方、ごみを捨てにいった初めて気がついて。で、次の日に清掃の方にカラスよけのネットを持ってきていただいていますので、清掃の方に、何か事情を聞いていると聞いたら、来週の水曜日ぐらいには通るやろうという話をされていたのです。大体、住民にその話があつと言う間に行ってしまったので</p>

	<p>ね、水曜日ぐらいになった。水曜日になっても。で、その後でしたか、すぐに写真を送っていただいて、私のほうはラ・ヴェールのⅠ、Ⅱ、Ⅲにこの写真と事情をちょっと書いたものを渡して、それで住民に広報してもらったのですけど。</p> <p>住民の中にはね、突然止まって何の事情か分からない。で、投入口に貼ってあるのはこっちにパッカー車で来ますよというものが投入口に貼ってあって、管理組合何してんねんという話で我々に来られたのですよ。できましたらね、あの紙を2枚ずつぐらい入れていただいて、投入口と、それから管理組合の掲示板がそれぞれありますんでね、そこへすぐに貼って知らしめたほうがええかなと、そういう要望もありますんで。</p>
市	分かりました。そしたら、また2枚、(ラ・ヴェール)Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、それぞれですね。
利用者の会	今回はもう既に。
市	ああ。次回から。
利用者の会	<p>処理していただいているので大丈夫だと思います。今、皆さんおっしゃったように、全部すぐ知らせと言われたのだけど、こういう事情ね、写真。これもね、結局、長期間、2か月、3か月続くと忘れてしまうのですね、やっぱり。だから開始する前にも同じようなやつを貼り出さんと、あんまり意味がないと思うのですね。だから、その辺どういう対処をしていくか。</p> <p>それと、これ10か所の投入口があるので、どこから入れたのか分からないね。新浜のあそこはマンションと、それから戸建てと。戸建てのほうの方との交流は全くないので、どんな状況なのかね、そんなのも全然分からないし。ちょっとその辺り何とかならんかなと思ったりするのです。そんな感じで。</p>
司会	はい、野村さん、どうぞ。
傍聴者	<p>三浦さん今おっしゃったとおりでね、その写真を貼るのやったら、もうね、早う貼れなかったら意味ないと思うのです。市は今、そんなんやったらちゃんと分かって、100%これが原因やないと貼らへん。そうじゃなくて、そのうちの一部でもあるなと思ったらもう貼たらええやん。もし間違ったら後で、ああ、間違っごめんなさいと言やあそれで済む話やで。そのぐらいの気でね、僕も先にそんなもんやらへんと意味ないよと。だから、これはアクションが遅過ぎると僕は思う。</p> <p>もう一つは、木に関してはね、ラ・ヴェール違うと思うのですよ、三浦さん、木やから。ラ・ヴェールの木は植木屋さんが切るだけであって、個々にあるわけじゃないから。</p>
利用者の会	ラ・ヴェールはこっちの、去年あったけど、こっちのほう行ったら一戸建てありますね。
傍聴者	一戸建てがある。
利用者の会	あそこのこっちのとこね。そこらもみんな絡んどる。どっちかいうたらそっち側かなと私は思っ
利用者の会	だから、そっちのほうやと僕も思う。

利用者の会	ベランダで大きな木育てている方がいる。
傍聴者	だから、それがね、そこのとこを、これ貼ったらね、恐らく誰やいうの、やった人分かりますよ。

	<p>そんなの分かったら、えらいことになったなと。もう二度とやらんと思いますよ、その人は。その人はですよ。ほかの人がやるかもしれんけど。だから、そういうことの積み重ねが1つやと思うんでね、早く貼って、早く情報流すと。少々それが、市がちょっと強引でも僕は構わないのと違うかな。</p> <p>今回のね、コロナ、皆見てください。大阪の吉村さん、えらい何や早めにやって、ちょっとぐらい間違ったらごめんって言って済むような話で、国は何や知らんけど遅れて、それでもうぼろかすや。その違いと一緒に、市も早くアクション起こそうと私は思っています。</p>
司会	はい、ありがとうございます。山口さん、どうぞ。
利用者の会	<p>まとめますと、まず今回の問題は幾つか複合的な要因があるのですね。</p> <p>1つは、玄関にあるようなものを捨てた。今までこれモグラたたきで、その地域にこんなの捨ててあって配ってたのですね。ところが、それが終わっても、実は老朽化の問題が重なったという話が1つ。これは今まで初めてなのですね。これ、だからどうするか。</p> <p>それからもう一つは、野村さんおっしゃったスピードの問題もありますけれども、もう一つあるのは地域が広いのですよ。今までならラ・ヴェールⅠ、Ⅱ、Ⅲにドーンと配ってやっていたのですが、今回どこにこれ配ったらいいのだろうということではちょっとちゅうちょした。ですから、今後ともこういうことは起こり得るので、じゃあこういうときにはこんなことで、いかにスピードを速くして、間違ってもええと。とりあえず第1弾として、現状ではこうですよというのを一刻も早く出す、私もそれ賛成ですので、その手順をきちっとしてやっていきましょう。はい、以上です。</p>
司会	はい、ありがとうございました。続きまして、次の議題ですね。
利用者の会	1つだけ、1つだけ。あと、このスプレー缶やけどね、スプレー缶は焼却炉の工程でも他のところで火災を起こしとるね。たしかね、コンベアで火災起こっているのや。収集車で問題になっとるからね、やっぱりこれも即注意ということと言わなきゃいけない、その時々でね。でないと、なくなりません。すみません、以上です。
司会	次の議題の3番、今年度の目標と活動案につきまして、資料3に関しまして、山口委員長のほうからご説明をお願いします。
利用者の会	<p>山口です。ゴミパイプラインは、結論から言いますと、今年度の活動目標をやっぱりきちんとしたほうがいいだろうと思って今回案を出しました。</p> <p>以前、皆さんで協議したように、32年間のプラン、大きな大まかなプランはあります。10年ごとに区切って、そのプラン、ここに3つの目標と8つの活動ということで、10年間まずこういうことをやろうということで、今、2年目に入っています。</p> <p>それはそれで、それを含む具体的な活動をやはり明確にして、それに向かって邁進するということが大切じゃないか。同じ価値観を持ってこれを対処していくということで、今回は3つ、その8つの活動を踏まえながら、3つの目標と8つの活動を踏まえながら、今年は2年目としてこの①、②、③をやったらどうかということを私のほうで考えました。</p> <p>まず①番は、設備保全活動の一環として、パイプラインの穴あき・亀裂、それからスクリュウというのは高浜の第一住宅で今起こっている問題、そういうことを一緒になって考えましょ</p>

	<p>う。ここにもう一つあるのは、今まではどうやってそれを対策するかということ考えた。プラス今度は、じゃあそれが起きたときに、今までパッカー車が月～土の6日間来ていたのですが、6日間でいいのではなく、3日でもいいのじゃないかと、その辺のいろんな考え方ありますんで、単に補修だけじゃなくて、その周りに関するいろんなことも一緒に考えて、まず今回は穴あき問題。今回の穴あきって、ほかでもあると思うのですよね。絶対に起こっているはずです。ですから、その亀裂・スクリューというのをきちっと今年に対策をしていこうじゃないかというのが1つです。</p> <p>②番目、トラブル発生の、住民起因のトラブルをゼロ化する。これはこれでやっていきますけど、これでもモグラたたきになりますので、もうちょっと深掘りして、さっき言いましたシステム思考という価値観、そのレベルまで踏み入って、じゃあどうしたらこれがなくなるのかということを利用者の会を使いながらやっていきたいな、これは継続で深掘りをしていく。</p> <p>③番目ですね、いよいよ代替案というものをどのようにしていったらいいのかということ今年からスタートさせたい。東京都じゃありませんけども、ロードマップをつくらうということで、どんな手順でどうしていくのかというロードマップをつくりながら、まず今年は基礎的なデータをそろえて、いよいよ代替案に取り組んでいこう。</p> <p>この3つを今年の大きな目標として掲げていったらどうでしょうか。具体的には当然細かい話はワーキンググループが中心となると思うのですが、それで決めて、この協議会、利用者の会で皆様方の賛同を得て実行していこうという考え方です。皆様方、どうでしょうか。</p>
司会	今の山口委員長のご説明に何か質問がございますか。はい、大田さん。
利用者の会	基本データの収集というところで、これどのようにして取るのかという。
利用者の会	基本データというのは投入口のデータです。どこにあって、どのくらいのごみ量がある。ごみの量は私のほうでほぼ計算するようなデータはありますので、そのごみ量をどうするのか。それから、そこにどれだけの人が住んでいるのかとか、車が横に、パッカー車が来られる、いろんな情報を投入口、マックスで130ありますけど、それごとに全部1つのデータとして持っていく。そういうことからデータ集めをしたらどうか。と同時に、ロードマップを全体でどんな手順で、どうしたら代替案できるのかということを考えたいと思っております。はい、以上です。
司会	それ以外ございますか。はい、春木さん、どうぞ。
利用者の会	<p>さっきの2回目になるかも分かんけど、山口さん、どうもご苦労さまでした、いろいろ。</p> <p>その中で、2020年度は①、②、③ということで書いてもらっていますが、この②の件ですが、トラブル防止活動として住民起因トラブルゼロ化活動の継続となっているのですが、ここはどうなんかなと思ひましてね。やっぱりさっきの一環として具体的なあれではどうかなと。例えば予防保全活動の一環として分別の徹底、ごみ減量など推進し、住民起因トラブルゼロ化活動のさらなる推進とかね。何かこのトラブル防止活動は、やっぱり今の設備の状況、40年経過している現状等々踏まえて、やっぱり予防保全、設備の傷むのを少しでも遅らせるということをちょっと明確に書いていただいたほうが住民の皆さんには伝わるかなと。だから、ちゃんと分別しなさいよ。要らん物捨てたら早いこと設備の寿命が終わりますよということで、ちょっとここを明確にしておいてもらいたいというのが私の思いで。やっぱり</p>

	住民の活動としては、ここが非常に利用者として重要な活動かなと、分別ですね。それとごみの減量というような気がしまして。予防保全の活動の一環として明確にしておいていただいたら今後につながるのかな、はっきりするのかなという気がします。以上です。
司会	はい、ありがとうございました。野村さん、どうぞ。
傍聴者	代替案の件ですけれども、山口さんがおっしゃっているようにロードマップを作成すると。それで、それに基づいて進めていくと、これも賛成なのですから、もう一つ、せっかく我々、今後、協議会とは別に利用者の会という住民ばかりで集まる会を持っているわけですから、そこである程度決まったことと、それからどういうふうに進んでいるかという、代替案についてどういうふうに進んでいるか。また、今度、住民がそしたらどんな意見を持っているのか、どういう形のものか、どんなふうにしてほしいとか、それをできるだけ住民を巻き込んでやっというたら、後でぐだぐだと住民側が、あれは嫌や、これは嫌やというふうなことになるように、その流れを協議会なり、何やったかな、名前忘れた。
市	ワーキンググループですか。
傍聴者	そう。ワーキンググループである程度まとめた部分、また進んでいる方向を利用者のほうに説明すると。これはね、利用者の会のほうの皆さんもより興味のあることだし、今の保全運動の書き方、あれしたらあかん、これしたらあかんというのはみんな面白い話もたくさんあるわけですね。それに向けてというたら、非常に代替案に関していうたら建設的やから、それぞれの意見も出てくると思うのです。その意見をできるだけ吸い上げて、このワーキングなんかでもその辺についてもまた検討せんとあかん。そういう流れにするのはどうかというふうに思うのですけど、山口さん、どうなのですかね、その辺のところ。
利用者の会	ロードマップを作成するという中で、そういう意見を入れるということにしたいと思います。
司会	はい、ありがとうございました。まだまだ議題もございまして、残り時間もだんだん迫ってきておりますので、ご協力のほどお願いいたします。続きまして、議題の4番、今年度の輸送管交換補修工事の予定に関しまして、資料4、林さんのほうからご説明をお願いします。
市	芦屋市の林です。議題4、今年度の輸送管の補修工事の予定といたしまして、輸送管の交換工事の予定の、まだこれ予定なのですから、報告をさせてもらいたいと思います。 工事箇所数は2か所ございます。先ほど停止地域の件でお話しさせていただきましたとおり、みどり地域センターの横の緑道の部分が約52メートル、こちらと、2か所目が、国際高校と新浜保育所間のT字路をちょっと南に下りたところが約25メートルになっております。今回は大体70から80メートルぐらいの輸送管の交換を行う予定にしております。 お知らせという形で下に載せてもらってるのですけども、あくまで予定なのですけども、工事箇所1に関しましては、今の既設のところそのまま入れるのが困難ですので、ルートを変更して入れる予定にしております。現在、こちらの工事に関しましては、芦屋市のホームページにも載っているのですけども、今、入札中になります。決まるのが来月の8日水曜日になっております。図面等、仕様書等、芦屋市のホームページに全て載せておりますので、よろしく申し上げます。また業者等決まりましたら、報告をさせてもらいたいと思っております。

	すみません、修正です。R1と書いているのは間違いで、R2、令和2年度。右下の緑のところ、R1と書いているのですが、R2です。申し訳ございません。ホームページのアップの際にはまた修正して上げさせてもらいます。報告は以上になります。
利用者の会	輸送管ルート変更と書いていますけども、このルートというのはどういうふうに変更するの。
市	ちょっと横にずらすというのか。
利用者の会	ちょっとずらす。
市	そうです。ずらします。緑道を真ん中にずらします。輸送管補修工事をやる時というのは両サイドに作業スペースとして1メートルほど取るのですが、家に近接すると掘れないので、下水管と水道管があるのですが、その間を取って、今回ルート替えをして、補修をしようと思っております。
司会	ありがとうございました。今のご説明に質問ございますか。
利用者の会	今年度はこれだけ。
市	輸送管交換はこれになります。
利用者の会	この2件。輸送管の修理というのは今年度これだけ、今のところ。
市	今のところ輸送管交換は。
利用者の会	分かっているのはここ这种感觉。
市	そうですね。予定はここになっております。また内貼り等がありましたら随時連絡と、リストを作成して、報告させてもらいたいと思います。
利用者の会	ここ、金額はえらい細かくまで書いてあったけど、4,270万円か。
市	予定価格を公表している入札になります。
司会	ほかにご質問ございませんか。それでは、続きまして本日の議題の5番、パイプライン入カシステム集計結果(令和元年度)、資料5、林さんのほうからご説明をお願いいたします。
市	<p>議題5に関しまして、以前、山口さんのほうからつくっていただきました入カシステム、毎年、このように昨年度と比較をするような形で報告させていただいております。昨年度とちょっと形式を変えましたけど、横に並べさせてもらって資料をつくっております。それぞれ左手のほうか昨年度の令和元年度のデータになります。右手のほうかその1年前の平成30年度のデータになります。</p> <p>1枚目のところが赤ランプの回数、1年間の回数を示しております。回数が一番多いのは新浜町7番で投入番号で言いますと03112になります。2番、3番に関しましても変わらず11031、12011になります。12011に関しましては潮見小学校校内の投入番号になります。</p> <p>次、裏面に関しましてはトラブル回数。これに関しては1年間のプロワ運転後などにバケット下や貯留槽にごみが詰まったトラブルの集計になります。こちらに関しては、先ほどとちょっと傾向が違うので、全く違う投入番号が今回は出ております。回数計は3回で、03051、30118、30178、33038。陽光町の投入番号が多かった傾向になります。</p>

	③番に関しましては投入物におけるトラブル回数で、どういったものでトラブルが起きていたかになります。これに関しましては変わらず木材ですね、それが一番多かったものになります。続いて草木類、雑誌類、段ボール、発砲スチロール。発砲スチロールに関しましては、分別といたしましては燃やすごみに当たるのですけれども、固形で形の保ったものでありますので、こういったのは詰まりやすいものになると思います。議題5に関しまして、パイプライン入力システム集計結果の報告は以上になります。
司会	ありがとうございました。ただいまのご説明に関して質問ございますか。はい、山口さん、どうぞ。
利用者の会	1枚目の表なのですけども、赤ランプの、満杯(赤ランプ)回数が、平成30年度に比べて令和元年は減っていますよね。何か原因か何かあるのですか。
市	ここはちょうどマンション名で言いますとメロディーハイムさんとプレティナレジデンスさんの間の投入口になります。今、基本的には満杯6か所で運転してるのですけども、ちょっと前、1月ごろだったかな、利用者の会にご連絡させてもらったのですけれども、ここに関しましては、試行的にちょっとそれを外して行っておりまして、年間通して大体60回ですけども、1、2、3月の3か月間は41回と減っているような傾向になります。その結果が反映されている可能性があります。 今後のこういったデータですね、こういった利便性が絡んでいるところに関しましては、例外的な対応も取ってもいいのじゃないかなという思いはあります。
司会	それ以外にご質問ございますか。春木さん、どうぞ。
利用者の会	今のと一緒に分かんけど、1ページ目のところで、浜風町9と潮見町4、これがすごい欄外にまでなってるのやけど、この辺も何か取り組まれたのかな、ちょっと分かんのかも分かんけど、かなり減ったということやね、浜風町9と潮見町4。1.4回やったのが1.1回より以下に、これより以下になってしまっているということやね。かなり少なくなったという気はしております。その辺、また何かあるのやったら注釈にでも入れといてもらったらよく分かってええし、ほかにあるのであれば、それをまたみんなに広げるとか。
市	欄外の順位については今ちょっと手元がないので、すみません。
利用者の会	いや、いいですよ、今言ってもあれや。その辺もよろしく願います。あと、輸送管の閉塞回数なんか集計してるのかな。
市	閉塞。
利用者の会	閉塞。どこで何回あって、何ぼやとかいう、そんなのは集計してない。
市	そうですね、これでは。
利用者の会	今回ね、せっかく二百何日間も止まってもうて、去年はどうやったとか、おとしはとか。
市	そうですね、この資料は山口さんがつくられた入力システムのデータになるので。
利用者の会	ああ、そうですか。
市	つくるのであれば、また別のものになると思います。

利用者の会	また、それもね、ワーキングでちょっとよろしくお願ひしたいと思います。それは大きなね。
市	そうですね。これ、データとして毎年毎年やって、どうだったかというのは見るのは1つの手法にはなと思います。
利用者の会	それと、ごみの量と、ほんで送風機の運転時間、それでCO ₂ の排出量、あれ、たしか、去年はまだやったのかな。
市	去年の分は。
利用者の会	まだ集計終わってない。その辺がCO ₂ 削減ということにもかかってくるしね。
市	令和元年度はまだ。
市	令和元年度は初めてやからない。またつくります。
利用者の会	そうやね。そうやね、昨年はないね。そやから昨年初年度なるので、昨年度の識別のずっと集計しているパイプラインの電力量や電気代や運転時間やごみの運搬量やとかCO ₂ の排出量何ぼやとかいうね。係数はあれコンマ5でいくと決めたんかな。
市	比較するため係数は一定にしよう。
利用者の会	一定にしようということは議論しているし。それも含めて、昨年も終わっているんで、CO ₂ の件、よろしくお願ひします。
司会	はい、大田さん、どうぞ。
利用者の会	投入物におけるトラブル回数ということで、木材が相変わらずナンバーワン、草木類も入っているというところで、住民のほうをどうしたらいいのだというのを非常に迷っている部分もあるのと違うかなというところでね、もっと今後、木材とか草木類に関して、どう処理するかというところをもっとアピールすべきじゃないかなと思います。
司会	はい、ありがとうございました。それ以外にご質問ございませんか。それでは、次の議題の6番、協議会 TO DO リストの確認、資料6に関しまして、山口委員長のほうからご説明をお願いいたします。
利用者の会	<p>利用者の会の山口です。資料6を見てください。</p> <p>これは何かといいますと、この協議会で話し合ったことがそのまますると議事録だけで終わるのは余りにももったいないので、そこで決めたこととか、いろんな要求とか、そういうものをきちっとTO DO リストとして残して、やったかどうかを確認しようという趣旨でつくったものです。これ、やるとしんどくなります、はっきり言って。するっと流したほうが楽なのですけども、そうするとこの会議の意味がありません。ですから、きちっとしようということで、まず26回の議事録から抜いたのがこの資料6の最初です。</p> <p>全部で23項目あるのですけれども、その中で話し合ったことで、もう既に実施した、終わっているよというのが上の1から13までです。ですから、これは私が確認しても終わっていると思います。</p> <p>処理中または何も手をつけてないというのは下のほうに、ちょっと確認だけさせていただきたい。これをずっとやることで、ここで決まったこととか要望とかがどうなったか、その後を追跡</p>

	<p>して、きちっとした会議にしたいというふうに思います。</p> <p>まず、第一住宅のスクリュートラブルですけれども、これは処理中と、検討中ですかね、でいいのですかね。ワーキンググループで最終的に、じゃあこれ、検討、処理中とします。</p>
市	検討中で。
利用者の会	検討中。
利用者の会	資料1にあったやん。
利用者の会	それから、早朝の自動運転のトラブル対策というのをこれは検討しましょうということだったのですけれども、今回も早朝のトラブルって結構あります、私もみました。ですから、これはやっぱり手を打たないかんということで、これはどうします。検討、要検討。
市	ワーキンググループで。
利用者の会	ワーキングで検討します、はい。それから、投入口の鍵の問題で、メンテ問題と利用者への告知と。何か印をつけるとかいろんなことをおいて、ちょっと今どんな状態なのかを確認したい。
市	今、去年の11月頃から赤シールをつけて、取りあえずあったところはやっているのですが、今回みたいに結構ばつと来てしまったので、ちょっとどうしようかなというのを資料づくりながら思ってたので。
利用者の会	じゃあ検討しましょうか。
市	検討でお願いいたします。
利用者の会	<p>はい。下も同じようなやつなのですが、コインマスターのトラブルの解決の検討ということで、これも一緒にいいですね、検討でね。</p> <p>それから5番目、収集事業課では燃えるごみ、燃えないごみで気づくことは注意しているのか。実行しているのか。</p>
市	<p>収集事業課では、車収集していて、ルール違反しているごみを出ていたらこういうシールを貼って置いて帰ってくるのですね。パイプラインのこの地域でも、燃やさないごみ、缶とかペットボトルとか不燃物関係、車収集をしているのですが、その際ルール違反があると、同じような感じで置いて、これ全市的にやっているのです。特にこの地域で、ここにあるのですが、気づくことというのが、ちょっと今問題になってきていてまだ整理し切れていないのですが、その他燃やすごみ、月1回、第2木曜日かな、その他燃やすごみ、あの分別というルールというのがちょっと問題になってきているので、また整理できたら、皆さんと相談させてほしいなと思っています。ですので、検討中になるのかな。</p>
市	<p>いやいや、この項目自体がどういう趣旨で上がっているかということなのですよ。だから、今みたいな分別が間違っていると、出す日が間違っているとかいうときに、警告シールを貼って置いている。収集しないということをもっても対応済みとしていただけるのやったらそういうことになりますし、今、藪田が言ったような、パイプライン地区特有の問題として、投入口に入らないような燃やすごみ、別に集めているわけですが、それについて何らかの検討課題があるのであれば、項目自体を違う表現にさせていただいて、検討項目を残すというような</p>

	形にさせていただくのがよろしいかと思うんです。
利用者の会	じゃあ今おっしゃったように5番目は一応終了で、今回の議事録の中で新しい項目として、その他の燃やすごみの分別ルールの問題ということで、今回の議事録の中でそうしましょう。次の通気運転時間の把握は。
市	そうですね、作業終わった後の通気運転、ごみを吸わなくて運転する。電力量とか測ることはシステム中では出てこないの、手入力で作業する方法しかないのかなと。それは日報で書くとか、ちょっと現場と調整をする必要があります。それを何分間してどうだったかというのは、場所場所によって異なると思いますので、それを。
利用者の会	じゃあワーキンググループで詰めましょうか。
市	そうですね。
利用者の会	そうやね。このまとめてくれている、これに影響しているから、詰まっている時間が長いと通気運転時間ってすごいロスをしてくるわね、これね。
市	キロ／運転時間でしたっけ。
利用者の会	運転時間ね。
市	はい。
利用者の会	非常に大きい、これ、通気時間、ロスが。コストもCO ₂ もみんな絡んでくる。
利用者の会	7番目、運転報告での外部の費用の表示。自分で書いていて、意味がよく分からないですけど。
市	多分、外にその書いていたと思うんですけどね、運転報告に。
利用者の会	ああ、外部費用、項目ありますね。
市	書いていると思います。
利用者の会	じゃあ済みです。次、収集事業課へ誤投入したものを探す要求はあるのか。
市	これはパイプラインの誤投入をどうしようかという話の中で、車収集も同じようなことがあるけど、車収集はどうしているかという話の流れで出てきているんやと思うのです。車収集でも誤投入、誤投入とは言わないですね、間違っただけというケースで連絡はあるんですけども、実際問題、パッカー車をひっくり返して捜索することはできないので、事情をちゃんと話しして、捜すということはやってないということです。
市	これは終了で。
市	終了ということで。
市	例外的なあるのでしょう。たまたま車の戻ってくるまでに連絡があって、間に合っちゃって、ぶちまけて捜してもらったことありますけど、極めて例外で。戻ってきてダンプしてしまったら、そこで終わりということになります。
利用者の会	ありがとうございます。9番目、輸送管内での人の作業の有無検討。これはコロナの問題もあるんですけども、中に入って作業するということはきちっと検討しとかなないとちょっと問題

	があるなど。今回入られたのですか、中に。
市	はい。
利用者の会	そうですか。
市	例のケーブル、ガスが入っている、ああいうものがあつたりだとか、包丁とかがあつたりだとか、人が入って作業しているので、やっぱりコロナだけではなくて、直接的にけがをする可能性はやっぱりあると思います。
利用者の会	その辺はきっちりしてほしいわね。
市	人が入ってやらないと。
利用者の会	進まない。
市	人が入らないなら道路を掘らないといけない。
市	結構期間がかかる。
市	ちょっとした閉塞でももう、それこそ何か月も停止という形に。
利用者の会	これは酸欠主任者をつけてやっている。それは考慮してない。
市	酸欠は測っています。
利用者の会	えっ。
市	測った上で作業を。
利用者の会	ああ、ね、主任者。
利用者の会	この今回の閉塞で、その中には人は入れない理由は1つ入れてあるのですね。そのぐらいしとかんと、なかなか。
市	やっぱり入らないほうが。
利用者の会	だから長期になりますよというような書き方にしてるのですけれども。
利用者の会	水銀の瓶が捨てられて、水銀。
市	ツイッターで。
利用者の会	ここに入る前に発見できたということで、本当にラッキーとしか言いようがない。7月に全ての事業所に事業系のごみハンドブックというのを配ろうとしていて、そこに1枚、今回のこんな入っていたという写真載せて、チラシを挟み込んで、いろんなお店も事業所、全部にそれを配ろうとしていますので、そんな形でちょっと啓発を、もうずっと、先ほどからも出ていますけど、やっぱりもう何回も何回もしつこくやっていくしか手だてがないのかなとは思っています。
利用者の会	捨てるということ自身、本当にもう我々から見たら犯罪やというふうに思うのですよ。今回、長期にわたって焼却炉がストップしたのも芦屋市市民全員が迷惑する。市民全員が迷惑する。本当これ犯罪ですよ。徹底的にやってもらいたい。
利用者の会	業者さんでね、多分、これ廃業しはった片づけのときに集めたものではないかと。だから瓶なんか長いこと使ってへんから、随分昔に置いていたということは、廃業して潰すときにそこから出てきたものを捨てていったというのが一番推測しやすいと思うのです。現状でほとん

	<p>ど使ってあらへんから基本的にはない、あとは水銀使っているというたら血圧計ぐらいやと思うけど、その辺の根底をもうちょっとしっかりしたほうがいいと思う。特に産廃業者にもっと徹底しないと、この件についてはね、なかなか解決しないのと違うかな。絞り方、もうちょっと書いたほうがいいと思うので。</p>
利用者の会	<p>そうや。そうやと思うで。今でもこの水銀の合金の詰め物をしてる人、今もまだいるでしょう、今もまだ。そやけど、現在は水銀を使わんような治療法に変えてきていますわね。しかし一方で、いまだに残っている歯を持っている人がいるということで。</p> <p>これね、やっぱりもっと具体的に、さっきも言うたように厳しくね、この間もあれちょっと見たら、西宮との広域化の打合せ、久しぶりに、あれ4月やった、やったでしょう。そのときにも水銀問題は報告していますわね。ほんで、そのときには、もうきっちりやっていますよと言っているわけですよ。それがもう2か月足らずで、また水銀の発見ということになっていますね。</p> <p>ということは、まだ徹底できてない。さっきのあの住民にも徹底できないのと同じですけどね、やっぱり発生、即関係するところには、わっと載せてやるとかね。そらもう新聞沙汰にしても、こんなこと言うたらあれやけど、本来やったら新聞沙汰になる、それだけの重大事項ですわ、環境異常を起こして。それがまた再発するようなことが可能性として起こっているわけですからね、やっぱり厳しくやるべきですわ。でないと、日本で環境異常を起こした1番、2番も芦屋市やで、これとか、やっぱり私らとしては恥ずかしい思いをしますよ。</p> <p>だから、できる限り、そこをね、厳しく協会にも、ちゃんと徹底できてないやないかということ、そこら辺を厳しくお願いしますわ。今ちょっと水銀の話、後で言おう思ったのやけど、今出ましたので、できるだけお願いします。</p>
利用者の会	<p>はい。途中で水銀になりましたけれども、管内作業に関してはやはりきちっとしたルールが要るかなと思うけど、ただそれを文書にすると、ひょっとして引かかるかもしれないので、そこはワーキンググループで協議しましょう。最後は10番、これは確認なのですが、マニュアル化を進めましょうということで、これはすぐ終わる話ではないと思うのですが、どうでしょう、事務局。</p>
市	<p>上の13番の弁のチェックリストとちょっと似ているような部分もあると思うのですが、結構何回も何回も行って結局直らなかったというのが議題に上がったと思うのですが、センターにいる5名の維持管理以外にも支店から応援に来てもらって復旧させるように言っています。細かいところまでというところがちょっと。</p>
利用者の会	<p>済みにしましょう。次は27回のパイプラインですね。終了と分けてありまして、処理中、確認。トラブル発生で現場に1回で行けなかったのか(リミットスイッチ位置)。これ、どういうことかな。</p>
市	<p>これは多分、今の件のやつで、1回リミットスイッチを調整したけども、また再発した。リミットスイッチが原因という先入観で作業してしまったので、現場に行ったら全体を見て判断するように伝えていきます。</p>
利用者の会	<p>済み。</p> <p>次、エクセルはさっき見せていただいた、ああいう形で進んでいますので、済みにします。</p>

	<p>利用者が起因で閉管した場合、これ、先ほども話が出たと思うのですけれども、回数の検討というのは、今後、ワーキンググループで検討する。だから週6回がいいのか、それとも何回か減らしていくのかというのは要検討で検討していきたいと思います。</p> <p>コインマスターを交換したかどうかの履歴をつくりましょうということだったんですけど、どうなんでしょう。</p>
市	今つくっています。今度のワーキングには出せると思います。
利用者の会	<p>じゃあワーキングで出していただくので済みにします。</p> <p>5番目はさっきの水銀の話ですけど、一応、ツイッターにはああいう形で載っていましたね。広報はされているんですけど、なかなか見てないですもんね。</p>
利用者の会	見てない。山口さんからあれを送ってもらって、初めて、あっ、こんなツイッターを知ったぐらいやから。見てないです。
市	さっきの水銀のやつですかね。ツイッターとかホームページは、あれ、発見したその日に上げたんですけど、すぐに上げれるのです。スピードを持ってすぐできます。広報紙なのですが、これ原稿出すのが、すごい締切りが早いのです。で、出して世に出るまでには大分時間たって、1か月とか、もつとか。ちょっとね、スピード感を持った啓発、あれはちょっと向いてないと思うのですけど。なもんで、すぐに上げることができるということで、ツイッターで上げたのです。
市	ここの広報というのはどう解釈するか。別に「広報あしや」とは限らないわけで、ホームページとかツイッターでもいいという、皆さんに広報するという意味での要するに広報。様々な手段を用いてということであれば、もちろんやっていますよということだと思います。
利用者の会	済みにします。水銀監視データの開示。
市	今でも年に何回か定期的に水銀測ってホームページで出しています。ここで言っているのは、外の環境表示板の話ですかね。
利用者の会	そうです。
市	<p>それに関しまして、入札が行われて、今やっと業者が決まりました。入札が流れたりして、入札を何回もしていたのでちょっと遅れています。今年度、令和2年度末までには工事終了する予定です。</p> <p>連続水銀計といまして、スポットではなくて、ずっと線形のデータを取れるような水銀連続計をつけて、あそこの外側の道路のところにある、今、NOxなんかを表示しているところの上に水銀の値を常に表示するように。1時間移動平均値という形になりますので、それを表示しようかなと思っています。</p>
利用者の会	このリストから済みにします。
市	はい。
利用者の会	最後ですね、28回、早朝トラブル、これは先ほど出ましたので。赤シールということで、ワーキンググループで発表していただける。次回できますか。
市	大丈夫です。

利用者の会	大丈夫ですか。じゃあそのときに。エクセルは、これも今回つくられましたので、会議のやり方としては、そういう会議をしていくことで、これはちょっとその後も継続したいと思います。引き続きやっていく。 4番目、廃棄物に関する発表大会へ参加。これはどうしますか。無理かな。
市	今現状、多分、コロナの関係もあって、あんまり開催自体がされてないのですかね。
傍聴者	ウェブで開催されたやつもあります。
市	ウェブでやってるのですか。
傍聴者	ありましたけどね。多分、秋か、来年の2月に全国都市清掃会議でやるのじゃないですかね。それは多分、そのときの状況次第だね、よく分かりませんがね。
利用者の会	できるだけ代替案以前に。浅田さん。
傍聴者	そうそう。
利用者の会	報告してもらっているのやから。あの辺も環境処理センターとしては今後の代替案とか新しい環境に関するいろんな発表なんかもあるので、できる限りどなたか参加してほしい。
市	そうですね。ちょっと場所の問題とかもあってあれなのですけど。
利用者の会	もちろん、もちろん。
市	情報収集についてはね、参加しなくても取れると思うので。
利用者の会	そういう情報を入れてもらってね。
市	情報収集には努めていきたいなと。
利用者の会	そうそう。今後のあれに非常に重要な。
利用者の会	情報収集をするということにします。 最後、これはすぐじゃないのでしょうか、包括委託になりますんで、引継書の作成をしとかなきゃいけないでしょうということで。これはもうちょっと。
市	引継ぎするようには仕様書に書いています。
利用者の会	どうしよう、継続にしますか、済みにしますか。
利用者の会	今年度中には契約までいくのやね。
市	そうです。
市	その段階で確定ですけど、もうその方向で動いておりますので。
利用者の会	動いていますか、はい。じゃあ。
利用者の会	この場では、もう終了ということで。ということで、これをまたリバイスして皆さん渡します。こういう形にするとね、この会議をきちんとすることができる。
利用者の会	包括委託は今月公募開始する。予定では今月公募やったけど、遅れそうなん。
市	ちょっと今、遅れています。
利用者の会	ああ、遅れている。TMESは4月からやね。

市	TMESは4月からです。
利用者の会	4月からやね。何かところ変わるから。そやからTMESと、この辺の関係どうなっているのかなと思ってね、公募で。
司会	はい、大田さん、どうぞ。
利用者の会	先ほど尾川さんのほうから水銀監視に関して、時間平均というふうなことが言われたのですが、もしか焼却して水銀値がとんと上がったというときには、焼却炉を即ストップできるようなことは可能なのでしょうか。
市	そうですね。パーンと上がらないような運転をするのと、あと水銀値が上がっているときには活性炭の量を増やして水銀を抑えるという作業になります。
利用者の会	鉄工所なんか行っても、何か問題起こったからって、即ストップなかなかしにくいけれども、焼却炉のね。そういうところで、ちゃんと対応できる体制ができてきているのかという。
市	そうですね。そのために連続水銀計を入れます。
利用者の会	それと赤シールというところで、前回、赤シール、せっかく林さんのとこで貼っていただいたにもかかわらず、雨風で即シールが剥がれているところが結構あったよということも以前は出ていたのよ。これ、改善されているの。みんな貼れている状態なのか、剥がれたままなのか。
市	また貼ります。この掲示板にかかわらず、古いやつは投入口に付着したり、剥がれたりしていますので、巡回点検で悪くなったものは維持管理業者が貼っていると思います。印刷したものを渡していますので、シールも含めて。
利用者の会	できるだけ剥がれないような形で。
市	一応、耐水紙を。
利用者の会	貼ると。
市	はい、使っていますので。
利用者の会	コインマスターの問題も今後いろいろと支障が出てくる問題。早く解決させてほしい。
市	そうですね。あと、逆に紫外線とか雨風とかで紙も悪くなってしまっているのですね。
利用者の会	その延長であれやけど、水銀監視データの開示ね、これ普通やったら管理範囲、法令で決まったこれに対して、これより以下で通常は監視しますと。そして活性炭の添加量いうたら予算が決まるとるからね、これぐらいの範囲が、これが通常ですということで、ある程度それでやるのやけど。そのときに何らかの水銀ね、ボンと1本入ってきたら、当然上がるわね、ずっと上がる。そやけど、基準以下であっても、これを上がったときには、この回数が多いということは、やっぱり何らか放り込んどるやつが、やつ言うたら悪いけど、業者とかね、住民がおるといことになるので、その辺もね、そんなときには、やっぱりある程度たくさん頻発してきたときには、やっぱりちゃんとそういうアクションをね、厳しくアクションとってほしいな思いますので、余計なことか分かんませんが、よろしく。
司会	ありがとうございました。本日の議題の7番、その他に関しまして、藪田課長のほうからご説明をお願いいたします。

市	<p>芦屋市の藪田です。今までこのパイプライン協議会は、市のほうはずっとこのメンバーでやってきたんですけども、今年度から1名追加させていただきたいと思っています。パイプラインの輸送管の補修工事を担当している者です。この4月から出席させていただきたいと思いますが、いかがですかね。よろしいですか。はい。</p> <p>今日は急に用事ができたということで出席できてないのですけれども、次回からはワーキンググループも参加させていただきたいと思っています。よろしくをお願いします。</p>
利用者の会	お名前何ていう。
市	中といいます。職種は土木職。ここには機械とか電気ばかりなのですが、今回から土木職の人が入ることになります。
利用者の会	ここに常駐ではない。
市	ふだんは僕らと同じ部屋にいます。
利用者の会	土木職で。
市	はい。
司会	はい、ありがとうございます。はい、山口さん、どうぞ。
利用者の会	今思いついたのですけれども、私たちのメンバーは木寺さんが引っ越しで抜けられたのですが、野村さんと浅田さんがいつも出てきておられますし、相当な知見もお持ちなので、よかったらこの会のメンバーとして参加していただけたらどうか。急なのですが、お二人にはまだ全然話していませんが、いかがでしょうか。よろしいですか。
利用者の会	それは個人的には賛成やけど。
傍聴者	参加させていただきます。
司会	<p>ありがとうございます。本日の最終議題8番、次回のスケジュールに関しまして、コロナの状況にもよるかと思えますけれども、今年の8月22日土曜日10時から、いかがでしょうか。8月22日土曜日、10時からということでお願いします。</p> <p>それとワーキンググループは、まだ未定ですが、7月22日以外で調整させていただくという予定で進んでおりますので、また決定されたらご連絡が入ると思いますので。以上でございます。</p> <p>それでは、第30回ゴミパイプライン協議会、これにて終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>

以上